

オープンデータ活用地方創生セミナー in 松江 開催概要

■主旨

島根大学ではオープンデータ（行政等が保有するデータを利用しやすい形で公開し、民間機関等の二次利用が可能なデータ）を活用して地域マネジメント（街づくり・健康福祉）の事例調査や、オープンデータを活用した経済効果に関する研究を進めています。「地方創生」が注目される中で、それぞれの地域がオープンデータを含めた様々なデータを活用して地域の特徴を客観的に認識し、町づくりや今後の発展性を見据えた戦略を立てていく必要性があります。

そこで、幸福度調査などのデータの活用事例に学びながら、「地方創生」に向けてオープンデータの活用方法を考えるセミナーを開催いたします。

■日時・場所

・日時：平成27年7月28日（火） 午後3時～午後5時

・場所：松江オープンソースラボ

松江市朝日町478番地18 松江テルサ別館2階

<http://www1.city.matsue.shimane.jp/sangyoushinkou/ruby/rubycity/rabo/open.html>

■講演

「ご挨拶」

講師：羽田 昭裕氏（日本ユニシス株式会社 総合技術研究所 所長）

「地域の特徴を客観的に分析する都道府県幸福度ランキング」

講師：横田 賀恵氏（日本ユニシス株式会社 総合技術研究所 技術研究室 研究員）

「地域におけるオープンデータ活用例とPDCAを支える取り組み」

講師：今道 正博氏（日本ユニシス株式会社 総合技術研究所 技術育成室 室長）

■主催：島根大学（Ruby・OSSプロジェクトセンター）

共催：松江市 しまねOSS協議会

※参加無料・参加を希望される方は下記お問合せ先までご連絡をお願いいたします。

●お問合せ先 野田哲夫 TEL&FAX 0852-32-6164 e-Mail: nodat@soc.shimane-u.ac.jp

■概要

講演 1

テーマ：「地域の特徴を客観的に分析する都道府県別幸福度ランキング分析の取り組み」

講師：講師：横田 賀恵氏（日本ユニシス株式会社 総合技術研究所 技術研究室 研究員）



講演概要：

地方創生に向けた地方版総合戦略の特徴の一つに、KPI の設定や PDCA 管理、地域経済分析システムの利用など、情報の活用を推進している点が挙げられます。日本ユニシス総合技術研究所では、「都道府県幸福度ランキング（（一財）日本総合研究所 編）」の出版において、ランキング算出やデータ分析を担当しており、幸福度というものさしで測った都道府県の特徴を一步踏み込んで様々なカタチで表現しています。データを通じて地域を客観的に分析し、強みや弱み、どこに課題があるのか等を示し、地方創生のヒントになる取り組みをご紹介します。

講演 2

テーマ：「地域におけるオープンデータ活用例と持続可能な PDCA を支える取り組み」

講師：今道 正博氏（日本ユニシス株式会社 総合技術研究所 技術育成室 室長）



講演概要：

オープンデータの量的な拡大や適切な公開を支える仕組み、既存のデータを組み合わせて新たな利用価値を生み出す取組について、過去・現在進行形の事例を交えて説明します。その後、地域企業が自治体のオープンデータを活用しビジネス検討を行う際に、自社課題の創出や見直しを検討する事例や仮説について触れ、最後に創出と是正サイクルの IoT データ基盤活用による実現方法について、地方創生を進める上での有用性仮説を含めご紹介いたします。